

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日までに行った事業の概要は次のとおりである。

1. 会員（令和3年3月31日現在）

会員種別	会員総数	前年度会員総数	入会者数	退会者数	前年度比
正会員A	11	11	0	0	0
正会員B	22	22	0	0	0
正会員C	10	10	1	1	0
賛助会員A	8	8	0	0	0
賛助会員B（個人）	6	5	1	0	+1
賛助会員B（団体）	37	38	0	1	-1
賛助会員C	7	7	0	0	0
合計	101	101	2	2	0

2. 運営に関する会議

(1) 総会・理事会

会議名	開催日時・場所	主な議決事項等	出席者
定時総会	令和2年6月19日（金） Web会議（Skype会議）	審議事項 1. 令和元年度事業報告及び収支決算承認 2. 役員（理事・監事）の選任の件 3. 顧問委嘱の件	出席者総数 38人 ・出席：20人 ・委任状提出：18人 （正会員数 42人）
臨時総会	令和3年3月12日（金） Web会議（Teams会議）	審議事項 1. 令和3年度事業計画承認の件 2. 令和3年度収支予算等承認の件 3. 令和3年度委員会及び部会の構成承認の件	出席者総数 42人 ・出席：26人 ・委任状提出：14人 ・表決書提出：2人 （正会員数 43人）
第1回臨時理事会	令和2年5月29日（金） 書面表決	1. 令和元年度事業報告承認の件 2. 令和元年度収支決算承認の件	同意者数 18名 （理事数 18人）
第2回臨時理事会	令和2年6月19日（金） Web会議（Skype会議）	1. 役員に係る役職の選任について 2. 会長の職務の代行順序の指名について 3. 運営委員会、技術委員会委員の選任 4. 常務委員会委員の選任（案）について	出席者数 13人 （理事数 17人）
第1回定例理事会	令和2年6月19日（金） Web会議（Skype会議）	審議事項 1. 役員（理事・監事）の選任の件 2. 顧問委嘱の件 3. 令和2年度役員会・委員会・部会等の組織・構成について	出席者数 15人 （理事数 18人）
第2回定例理事会	令和2年9月25日（金） Web会議（Teams会議）	審議事項 1. 上期事業活動状況 2. 下期予定事業	出席者数 16人 （理事数 17人）
第3回定例理事会	令和3年1月15日（金） Web会議（Teams会議）	審議事項 1. 総会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定 2. 令和3年度事業計画に向けての検討	出席者数 15人 （理事数 17人）
第4回定例理事会	令和3年3月12日（金） Web会議（Teams会議）	審議事項（臨時総会に付議する議案の先議） 1. 令和3年度事業計画承認の件 2. 令和3年度収支予算等承認の件 3. 令和3年度委員会及び部会の構成承認の件 審議事項（理事会議案の審議） 1. 総会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定	出席者数 16人 （理事数 17人）

(2) 常務委員会

会議名	開催日時・場所	議 題	出席者
第1回	令和2年4月9日（木） Web会議（Skype会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 6人
第2回	令和2年5月21日（木） Web会議（Skype会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 7人
第3回	令和2年9月10日（木） Web会議（Teams会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 7人
第4回	令和2年11月26日（木） Web会議（Teams会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 6人
第5回	令和3年2月4日（木） Web会議（Teams会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 6人
第6回	令和3年3月4日（木） Web会議（Teams会議）	協会運営に関する諸問題について	出席者数 7人

3. 計測技術講習会の開催（各講習会では新型コロナウイルス感染拡大防止対策に従い、募集定員を各会場収容人数の半分に設定し、検温等を実施、ソーシャルディスタンスを確保し開催した。）

(1) 排水管理における計測器の基礎知識と維持管理技術講習会

排水管理において最も重要、かつ基本的な pH 計、DO 計、濁度計・SS 計について、その精度管理、維持管理に関する技術の向上を目的として、東京都、大阪市で開催した。環境省担当官による排水規制の動向についての講演と協会技術員による計測器の計測原理、精度管理、及び維持管理についての講義を実施した。例年7月開催であったが、本年度は実施日を9月に変更し、44名が受講した。

◆後援 ; 環境省

◆期日、会場 ; 令和2年9月4日(金) 大阪会場 大阪科学技術センター
令和2年9月14日(月) 東京会場 飯田橋レインボービル

(2) 水質計測機器維持管理講習会

水質総量規制関連計測機器の精度管理、維持管理に関する技術の普及、向上を目的として、東京都、神戸市、名古屋市で開催した。環境省担当官による水環境行政の動向についての講演を加えた講習プログラムに基づき、協会技術員による計測器の計測原理、精度管理、維持管理についての講義並びに計測器の実機講習を実施し、42名が受講した。

◆後援、協賛 ; 後援：環境省、(一社)産業環境管理協会 協賛：(株)環境新聞社

◆期日、会場 ; 令和2年10月9日(金) 東京会場 飯田橋レインボービル
令和2年10月12日(月) 神戸会場 神戸市産業振興センター
令和2年10月13日(火) 名古屋会場 名古屋国際センター

(3) 環境大気常時監視技術講習会

環境大気常時監視測定機の精度管理、維持管理に関する技術向上等を目的として東京都、神戸市で開催した。環境省担当官による環境大気環境行政の動向についての講演、及び環境大気常時監視実務推進マニュアル第3版に基づき、地方自治体研究員、協会技術員による講義及び実機講習を実施し、50名が受講した。

◆後援 ; 環境省

◆期日、会場 ; 令和2年10月26日(月)～27日(火) 東京会場 飯田橋レインボービル
令和2年10月29日(木)～30日(金) 神戸会場 神戸市産業振興センター

4. 環境大気常時監視技術者試験の実施

本制度は、環境大気常時監視自動測定機の維持管理や精度管理、データ管理業務等における技術継承や技術力の維持向上を目的として平成21年度にスタートした。本年度は12年目にあたり、実施結果等は以下のとおり。

なお、本試験の問題、合格基準等は、「環境大気常時監視技術者試験委員会」において検討、決定された。初級・専門技術者試験に関しては、例年は6又は7月に実施していたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に従い、実施日を9月へ変更し、受験申込定員数を各会場収容人数の半分に設定し実施した。

(1) 初級技術者試験

◆期日 ; 令和2年9月5日(土)

◆会場 ; 飯田橋レインボービル、大阪科学技術センター

◆申込者数、合格者数等 ;

	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
東京会場	27	0	27	16	59.3
大阪会場	8	0	8	4	50.0
計	35	0	35	20	57.1

(2) 専門技術者試験

◆期日 ; 令和2年 9月 5日 (土)

◆会場 ; 飯田橋レインボービル、大阪科学技術センター

◆申込者数、合格者数等 ;

	申込者数	欠席者数	受験者数	内 初級合格者数	合格者数	合格率 (%)	実質合格* 率 (%)
東京会場	11	1	10	9	1	10.0	11.1
大阪会場	7	0	7	6	2	28.6	33.3
計	18	1	17	15	3	17.6	20.0

*実質合格率 ; 初級技術者試験の合格者のみが専門技術者試験を受験したと仮定した時の合格率。

(3) 主任技術者試験

◆期日、会場

大阪: 令和2年 11月 18日 (水)、 つるやホール (Web 面接試験)

東京: 令和2年 11月 20日 (金)、 協会会議室

◆申込者数、合格者数等 ;

	受験者数	合格者数	合格率 (%)
大阪会場	2	2	100.0
東京会場	2	1	50.0
計	4	3	75.0

(4) 環境大気常時監視技術者の更新

環境大気常時監視技術者試験の合格者のうち、平成 22, 27 年度合格者の資格認定及び登録の有効期限 (基準登録日から 5 年毎) が到来するため、これらの者の更新審査を行った。

◆更新審査結果

	更新対象者数	更新審査合格者数	更新延期届出者数
初級技術者	98	54	4
専門技術者	19	12	0
主任技術者	30	24	0
計	147	90	4

5. 技術交流会の開催

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止した。

6. オゾン濃度値付け業務の実施

当協会が所有する標準器 (国立環境研究所の 1 次標準器により値付け) により、民間の基準器 (3 次に相当) を値付けする業務を実施した。

◆発注元、台数 ;

レンタル事業者 : 2 台、計測器メーカー : 4 台、調査・分析事業者 : 13 台 計 19 台

7. 受諾・請負調査等の実施

(1) 令和 2 年度マイクロプラスチック調査機器開発業務

環境省から受注した「令和 2 年度マイクロプラスチック調査機器開発業務」において有識者で構成した検討会を 3 回、専門家で構成した作業部会を 4 回開催した。マイクロプラスチック分取作業における動作確認機器を作製し、基本動作及び基本性能の確認と課題抽出までを完了し、機器開発仕様 (素案) 及び報告書を作成した。

(2) 令和 2 年度環境技術実証事業 環境測定技術 実証機関業務

環境省から令和2年度環境技術実証機関(大気汚染対策技術、土壌の簡易測定技術)に選定され、有識者で構成した実証検討会を開催した。大気汚染対象技術(1社1技術)の実証試験等を実施、実証試験結果報告書の作成等を行った。また、土壌の簡易測定技術(1社1技術)の実証計画書を作成した。

- (3) 環境省令和2年度東アジアにおける大気環境モニタリング等推進方策検討調査業務における「日本の大気環境関連計測技術に関する海外展開状況の整理と今後の海外展開方針の提案」及び「日本の大気環境関連計測技術に関する公的マニュアルに係る英文版の作成」に関する業務
株式会社数理計画から受注し、海外部会を中心に関連する報告書等を取りまとめた。

8. 海外協力等

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で実施しなかった。

9. 委員の派遣

環境省ほか、諸団体からの要請を受け、6検討会等へ委員を派遣した。

10. 後援・協賛

諸団体からの依頼を受け、下記行事の後援、協賛を行った。

後 援	環境システム計測制御学会 「第32回環境システム制御学会(EICA)研究発表会」
協 賛	(一社)日本分析機器工業会 (一社)日本科学機器協会 「JASIS2020」

11. 図書の発行

協会誌、及び水質計測機器・環境大気自動測定機に関する技術マニュアル等を発行した。

協会誌	かんぎきょう 126号 (令和2年7月)
	かんぎきょう 127号 (令和3年1月)
技術マニュアル	水質総量規制制度におけるCOD換算式修正マニュアル(改正版) (平成24年9月)
	水質計測機器維持管理技術マニュアル (平成24年10月)
	環境大気常時監視実務推進マニュアル 第3版 3刷 (平成25年6月)

12. 委員会・部会・研究会の開催 (活動)

委員会・部会名	開催日	議 題
【運営委員会】		
・事業部会	第1回 令和2年5月19日(火)	部会活動、実施事業計画
水質講習会分科会	第1回 令和2年6月24日(水)	水質計測機器講習会実施計画
(水質部会と共同開催)	第2回 令和2年9月2日(水)	〃
・海外部会	第1回 令和2年5月27日(水)	部会活動計画
	第2回 令和3年1月13日(水)	令和2年度活動報告等
・広報部会	第1回 令和2年5月26日(火)	部会活動計画
	第2回 令和2年7月15日(水)	協会誌校正
	第3回 令和2年12月7日(月)	協会誌校正
【技術委員会】		
・水質部会	第1回 令和2年5月14日(木)	部会活動、実施事業計画
・大気部会	第1回 令和2年5月14日(木)	部会活動、実施事業計画
・酸性雨部会	第1回 令和2年5月18日(月)	部会活動計画
・維持管理部会	第1回 令和2年7月1日(水)	部会活動計画
【環境大気常時監視技術者試験委員会】	第1回 令和2年7月9日(木)	試験問題、採点基準 他
	第2回 令和2年10月2日(金)	〃
	第3回 令和2年12月4日(金)	〃